

要介護4、5でも可能性 特別障害者手当

障害者手帳なくても 障害一つでも支給受けられる



月2.7万円が支給される「特別障害者手当」。実は介護保険の要介護4、5の高齢者も受け取れる可能性があります。日曜版2月28日号の記事「障害者手帳なくてももらえる特別障害者手当」には、「高齢者は対象にならないと思っていた」「父親にあてはまるかも」との反響が相次ぎました。どんな人が当てはまるのか、五つの認定基準を特集します。

真鍋のぞみ記者

五つの認定基準

「特別障害者手当」は、介護保険の要介護4、5の高齢者も受け取れる可能性があります。日曜版2月28日号の記事「障害者手帳なくてももらえる特別障害者手当」には、「高齢者は対象にならないと思っていた」「父親にあてはまるかも」との反響が相次ぎました。どんな人が当てはまるのか、五つの認定基準を特集します。

申請の翌月から月2.7万円

特別障害者手当 著しく重い障害があり、日常生活に常時特別な介護が必要な20歳以上の人に月2.7万円が支給される国の制度です。本人や配偶者、扶養義務者の所得制限があります。本人の給与と収入の目安は年収518万円以下（扶養義務者がいい場合）です。手当は申請受理の翌月分から受け取れます。（3カ月分ずつ年4回支給）

自宅のほか、グループホーム、シ

「特別障害者手当」は、介護保険の要介護4、5の高齢者も受け取れる可能性があります。日曜版2月28日号の記事「障害者手帳なくてももらえる特別障害者手当」には、「高齢者は対象にならないと思っていた」「父親にあてはまるかも」との反響が相次ぎました。どんな人が当てはまるのか、五つの認定基準を特集します。

表1 障害基礎年金1級程度の障害（3〜5は肢体不自由）

- 1 両眼の視力の和が0.04以下のもの
- 2 両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの
- 3 両上肢の機能に著しい障害を有するもの、または両上肢のすべての指を欠くもの、もしくは両上肢のすべての指の機能に著しい障害を有するもの
- 4 両下肢の機能に著しい障害を有するもの、または両下肢を足関節以上で欠くもの
- 5 体幹の機能に著していることができない程度、または立ち上がることができない程度の障害を有するもの
- 6 前各号に掲げるもののほか、身体の機能の障害、または長期にわたる安静を必要とする病状が前各号と同程度以上と認められる状態であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 7 精神の障害であって、前各号と同程度以上と認められる程度のもの

表2 日常生活動作評価表（10点以上）

動作	評価	点
タオルを絞る（水を切る程度） 座る（正座、横すわり、あくら、脚なげだしの姿勢を持続する） 立ち上がり	ひとりではできる ひとりでもできて うまくできない	0点 1点 2点
片足で立つ 階段の昇降	ひとりでは全くできない	2点
とじひちを結ぶ	5秒以内に行える 10秒以内に行える 10秒以上できない	0点 1点 2点
かぶりシャツを着て履く ワイシャツのボタンをとめる	30秒以内に行える 1分以内に行える 1分ではできない	0点 1点 2点

1 腕や脚などが不自由

「特別障害者手当」は、介護保険の要介護4、5の高齢者も受け取れる可能性があります。日曜版2月28日号の記事「障害者手帳なくてももらえる特別障害者手当」には、「高齢者は対象にならないと思っていた」「父親にあてはまるかも」との反響が相次ぎました。どんな人が当てはまるのか、五つの認定基準を特集します。

3 障害が重なっている

- 3 1下肢の機能を全失したもので、または1下肢を大断（たいたい）の2分の1以上で欠くもの
- 4 体幹の機能に著しくできない程度の障害を有するもの
前各号に掲げるもののほか、身体の機能の障害または長期にわたる安静を必要とする病状が前各号と同程度以上と認められる状態であって、日常生活が著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 5 精神の障害であって、前各号と同程度以上と認められる程度のもの

5 臓器などに疾患

「特別障害者手当」は、介護保険の要介護4、5の高齢者も受け取れる可能性があります。日曜版2月28日号の記事「障害者手帳なくてももらえる特別障害者手当」には、「高齢者は対象にならないと思っていた」「父親にあてはまるかも」との反響が相次ぎました。どんな人が当てはまるのか、五つの認定基準を特集します。

表4 障害基礎年金2級程度の障害

- 1 両眼の視力の和が0.05以上、0.08以下のもの
- 2 両耳の聴力レベルが90デシベル以上のもの
- 3 平足機能に極めて著しい障害を有するもの
- 4 そしゃく機能を失ったもの
- 5 音声または言語機能を失ったもの
- 6 両上肢の親指および人さし指の機能を全失したもので、または両上肢の親指および人さし指を欠くもの
- 7 1上肢の機能に著しい障害を有するもの、または1上肢のすべての指を欠くもの、もしくは1上肢のすべての指の機能を全失したものの

「特別障害者手当」は、介護保険の要介護4、5の高齢者も受け取れる可能性があります。日曜版2月28日号の記事「障害者手帳なくてももらえる特別障害者手当」には、「高齢者は対象にならないと思っていた」「父親にあてはまるかも」との反響が相次ぎました。どんな人が当てはまるのか、五つの認定基準を特集します。

「特別障害者手当」は、介護保険の要介護4、5の高齢者も受け取れる可能性があります。日曜版2月28日号の記事「障害者手帳なくてももらえる特別障害者手当」には、「高齢者は対象にならないと思っていた」「父親にあてはまるかも」との反響が相次ぎました。どんな人が当てはまるのか、五つの認定基準を特集します。

「特別障害者手当」は、介護保険の要介護4、5の高齢者も受け取れる可能性があります。日曜版2月28日号の記事「障害者手帳なくてももらえる特別障害者手当」には、「高齢者は対象にならないと思っていた」「父親にあてはまるかも」との反響が相次ぎました。どんな人が当てはまるのか、五つの認定基準を特集します。